

Panasonic®

ポータブルDCCレコーダー

Portable DCC Recorder

品番 RQ-DR9

取扱説明書

Operating Instructions

DCC



このたびは、ポータブルDCCレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

DIGITAL
DCC
COMPACT CASSETTE

保証書別添付

上手に使うって上手に節電

RQT2540-1S

⚠️必ずお守りください

電源は、AC(交流)100Vで



ACアダプターは正しく取り扱ってください。

取り扱いを誤ると危険です。

- ぬれた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

加工・改造・異物の挿入はしない



感電や故障の原因になります。特にお客様にはご注意ください。

水・薬品はかからないように



引火、火災や感電のおそれがあります。

設置は安定した、風通しのよい所に



落としたり、強い衝撃をあたえないでください。また、次のような所は避けてください。

- 湿気の多い所
- 直射日光のあたる所など、温度が高い所
- 倉庫などほこりの多い所

夏の閉め切った車内に放置しない



100°Cに達することもありますので、キャビネットが変形、変色したり、液晶部を破損するおそれがあります。

消磁器は使用しない



アナログカセットデッキ用の消磁器を使用すると、ヘッド部を破損しますので、絶対に使用しないでください。

ヘッド部に触れないで



ヘッド部は精密にできていますので、絶対に手を触れないでください。

万一、故障が起きたら



ACアダプターを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ステレオインサイドホンについて

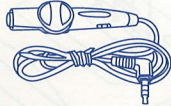
- 耳を刺激しないよう、また周囲の人へ迷惑にならない程度の適度な音量でお楽しみください。
- 交通安全のため、自転車やバイク、自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。歩行中でも音量を上げ過ぎると、外の音が聞こえにくくなり危険ですので、踏切や横断歩道などでは周囲の交通に充分注意してください。
- 本体に巻き付けるときは、コードにたるみを持たせてゆるく巻いてください。

付属品

ステレオインサイドホン (1)



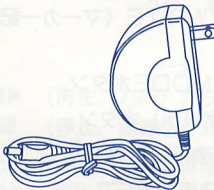
リモコン (1)



専用充電式ニカド電池 (1)



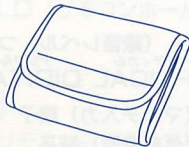
ACアダプター (1)



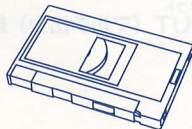
接続コード (2)



キャリングケース (1)



録音用DCCテープ (1)



もくじ

準備

各部のなまえ	4
電源について	6
誤操作防止のために	7

操作

テープを聞く	8
表示を切り換える	11
DCCの録音について	12
録音する(機器との接続)	13
録音する	14
マーカの種類とはたらき	17
好みの位置にマーカを 記録する	18

ご

参

考

リモコンで操作する	19
他の機器と接続して使う	20
こんな表示が出たときは	21
DCC/ACCテープについて	22
著作権について	23
SCMSについて	24
故障かな!?	24
ご注意	26
お手入れ	26
アフターサービス	27
Operating Instructions	28
定格	裏表紙

文中の表記について

お使いになるテープによって、次のように
区別して記してあります。

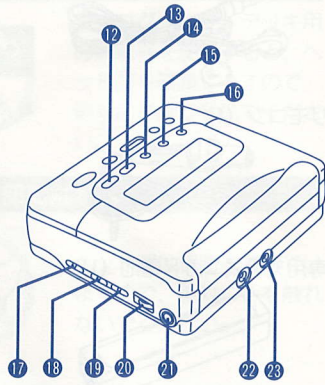
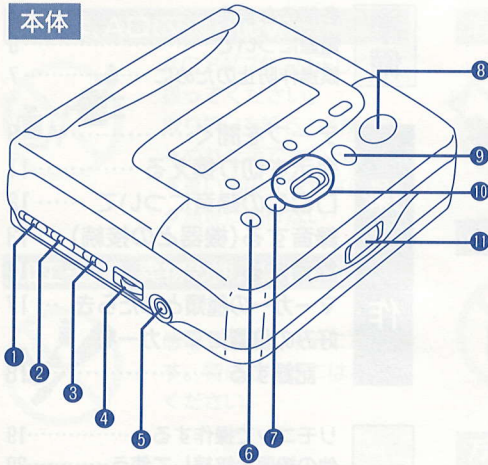
DCC : DCCテープ

ACC : 従来のアナログテープ


ACCテープは、再生時のみ使用できます。
録音には、録音用DCCテープを使用し
てください。

各部のなまえ

本体



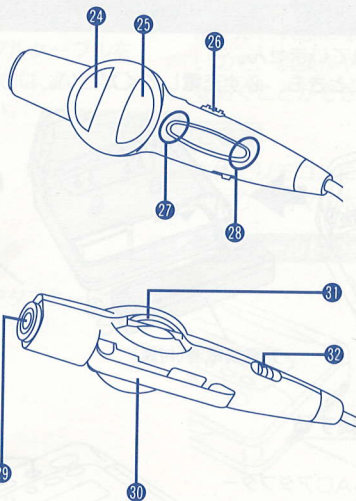
- ① リバース モード REV MODEつまみ
ドルビー ノイズリダクション
- ② ドルビー DOLBY NR つまみ

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

- ③ エクストラバス S-XBS (重低音) つまみ
ボリューム
- ④ VOLUME (音量) つまみ
- ⑤  (ヘッドホン) 端子
スキップ リワインド
- ⑥ SKIP REW (頭出し、巻戻し) ボタン
スキップ ファストフォワード
- ⑦ SKIP FF (頭出し、早送り) ボタン
プレイ デイレクション
- ⑧ ◀、PLAY/ DIR (再生、方向) ボタン
ストップ パワー オフ
- ⑨ ■、STOP/POWER OFF、
チャージ CHARGE (停止/電源切、充電) ボタン
レック ポーズ
- ⑩ REC PAUSE (録音待機) つまみと
レック REC (録音) ランプ
オープン
- ⑪ OPEN (カセットふた開) つまみ

- ⑫ マーカー ライト MARKER WRITE (マーカー記録) ボタン
マーカー モード
- ⑬ MARKER MODE ボタン
テキスト
- ⑭ TEXT (文字表示) ボタン
タイム
- ⑮ TIME (時間表示) ボタン
カウンター リセット
- ⑯ COUNTER/RESET
(カウンター表示、リセット) ボタン
ホールド
- ⑰ HOLD (本体ホールド) つまみ
マイク ライン
- ⑱ MIC、LINE (入力切換) つまみ
レック モード
- ⑲ REC MODE (録音モード切換) つまみ
レック レベル
- ⑳ REC LEVEL (録音レベル) つまみ
ライン イン オプティカル デジタル
- ㉑ LINE IN/OPTICAL DIGITAL
イン マイク イン
- ㉒ DC IN 6V (外部電源) 端子
ライン アウト オプティカル
- ㉓ LINE OUT/OPTICAL
デジタル アウト DIGITAL OUT (マルチ出力) 端子

リモコン



- 24 ◀▶ (再生、方向) ボタン
- 25 ■ (停止、電源切、充電) ボタン
レック ポーズ
- 26 REC PAUSE (録音待機) つまみ
- 27 F ▶▶ (頭出し、早送り) ボタン
- 28 R ◀◀ (頭出し、巻戻し) ボタン
ホーンズ
- 29 PHONES (ヘッドホン) 端子
- 30 クリップ
ボリューム
- 31 VOL (音量) つまみ
ホールド
- 32 HOLD (リモコンホールド) つまみ

ご参考

本体、リモコンのボタンを押すと、動作に応じて確認音が鳴ります。(19ページ参照)

電源について

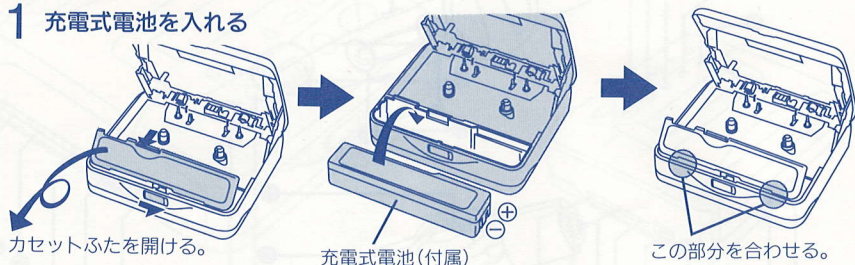
充電式電池、またはACアダプターで使えます。

充電式電池で使う

お買い上げ時には充電されていません。

また、長期間使わなかったときも、必ず充電してください。

1 充電式電池を入れる



2 ACアダプターを接続する



3 CHARGE ボタンを押し、充電を始める

約3時間で充電が終わり、“Charging”

表示が消えます。(フル充電)

フル充電で約2時間30分のDCCテープ再生ができます。

Charging

4 充電完了後、DC IN端子、コンセントからACアダプターを抜く

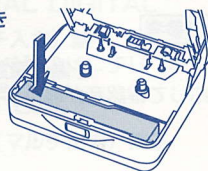
■電池が消耗すると

電池消耗インジケーターが点滅します。さらに消耗がすすむと、自動的に電源が切れ、操作できなくなります。

◀▶ ボタンを押しても電源が入らないときは充電してください。

■電池を取り出すとき

電池カバーをはずして、矢印の部分を押すと電池の右側が浮き上がります。



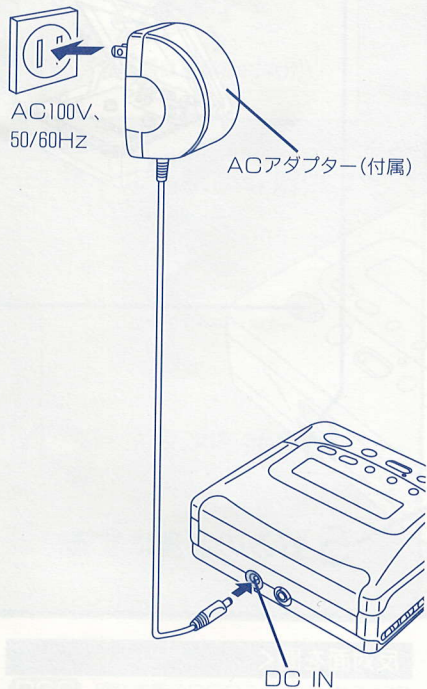
■ご注意

長時間充電式電池で使わないときは、充電式電池を取り出してください。

誤操作防止のために

ACアダプターで使う

別売りのオプティカルデジタルケーブルをつないで演奏や、録音するときは、必ずACアダプターをお使いください。



ご注意

市販のACアダプターには極性の異なるものがあるため、必ず付属のACアダプターを使用してください。

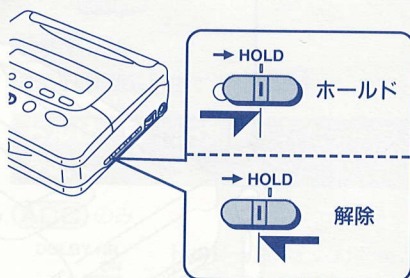
(ホールド機能)

ホールド状態にすると操作ボタンが働かないので、誤操作や、それによる電池の消耗を防ぐことができます。

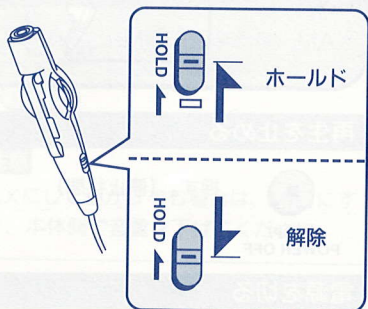
ご参考

本体とリモコンにそれぞれホールドつまみがあり、別々にホールド状態になります。

本体ホールドつまみ



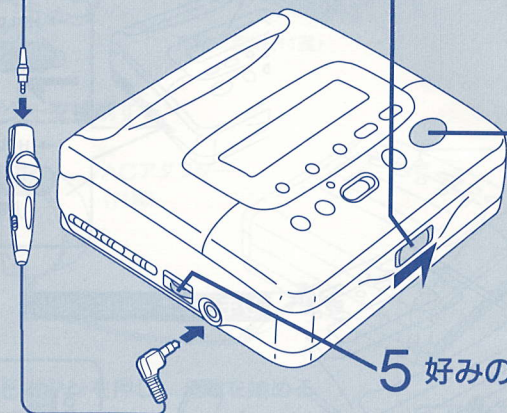
リモコンホールドつまみ



操作前に必ず解除してください。

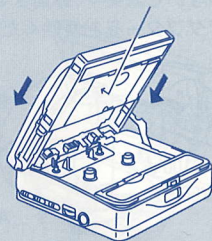
テープを聞く

1 インサイドホンをつなぐ



2 テープを入れる

DCC スライダー面を下に



5 好みの音量にする

再生を止める



押す。(停止状態)

STOP/
POWER OFF

反対面を聞く



再生中に押す。

PLAY/DIR

電源を切る



停止状態で押す。

STOP/
POWER OFF

■テープを取り出すとき
停止状態にしてから取り出してください。

■電池の消耗を防ぐため、次のようなときは自動的に電源が切れます

- テープを取り出したとき
- 停止状態で約3分間放置したとき

■ACCテープを入れるとき



テープの種類は自動的に判別します。

3 ホールド状態を解除する

(7ページ参照)

4 ◀▶ ボタンを押す

自動的に電源が入り、再生が始まります。

一度カセットふたを開閉するとA面からの再生になります。

■再生中の表示について

DCC (例:市販のDCCミュージックテープ)



ACC

Fwd:おもて面
Rev:うら面



リバースモードを選ぶ

REV MODE A面(おもて面)→B面(うら面)を1回再生して自動停止。



REV MODE A面(おもて面)→B面(うら面)を連続再生。



ご参考

両面を6回連続再生すると自動停止します。

ドルビーB NR録音されたテープを聞く

ACCのみ

DOLBY NR
OFF ON



ドルビーNRとだけ記載された市販のテープはすべてBタイプです。

重低音を楽しむ

S-XBS
OFF MID MAX



MID(中)または、MAX(大)にする。

ご注意

MAXにして音がひずむ場合は、MIDにするか、本体側で音量を下げてください。

再生できるテープについて

DCCテープ		○
ACCテープ	Normal(TYPE I)	○
	CrO ₂ (TYPE II)	○
	Metal (TYPE IV)	○
	エンドレステープ	×

早送り・巻戻しする

早送り



停止中に押す。

巻戻し



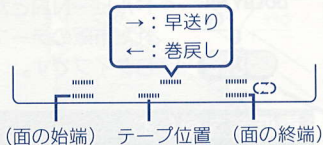
停止中に押す。

ご参考

電源「切」状態からでも操作できます。
このとき、DCCテープでは時間表示はされません。

■早送り・巻戻し・頭出し中のメーター表示について

動作中はメーターが、テープの走行方向とおおよその位置を表示します。



曲の頭出しをする

ボタンを押した回数だけ曲を飛び越して、頭出しをします。

前進して飛び越す



再生中に押す。

後退して飛び越す



再生中に押す。

- 1回押すと今の曲の頭に
戻って再生します。

ご参考

- 前後99曲まで飛び越せます。
- A面の最初に戻ると自動停止します。

■聞きたい曲の曲名や曲番を選んで頭出し できます

(市販のDCCミュージックテープのみ)

曲名表示中

“TO”と選んだ曲番を交互に表示



ご参考

曲名で選べるのは24曲目までです。

時間またはカウンター表示中(11ページ参照)



ご注意

- 曲の途中から再生し、頭出しをすると、
曲名や曲番を表示せず、飛び越す曲数が
表示されることがあります。
- テープの始端から操作したとき、頭出し
が正確にできなかったり、時間表示が
「-- --:--」になることがあります。こ
のときは、時間表示がされてから頭出し
操作をしてください。

ご注意 (ACC)のみ

頭出しには曲間の無音部(約4秒間)を利用
しているため、次のようなときは正しく働
かないことがあります。

- 曲間の無音部が4秒以下のときや、雑音が入
っているとき
- 次の曲間までが10秒以下の位置で頭出し
を始めたとき
- 曲中に長い無音部や、小さい音、低い音
が続くとき
- 徐々に音量が上がったり下がったりする
とき

表示を切り換える

時間を表示させる **DCC**

TIMEボタンを押す

押すたびに

絶対時間 (ABS)

4 15:16 Play
TRACK ABS A

曲ごとの経過時間 (TRACK)

4 1:53 Play
TRACK TRACK A

テープの総残量時間 (-TOTAL)

(市販のDCCミュージックテープのみ)

-27:52 Play
TOTAL A

テープの総曲数と総再生時間

(TOTAL)

(市販のDCCミュージックテープのみ)

12 43:08 Play
TOTAL A

テキスト (文字) 情報を

表示させる **DCC**

(市販のDCCミュージックテープのみ)

TEXTボタンを押す

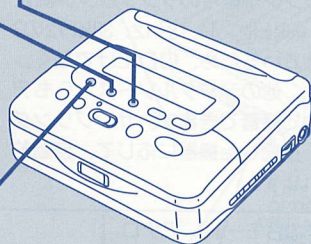
60VATURE
TRACK A

曲番 曲名 (最大12文字)

テープカウンターを

表示させる **DCC** **ACC**

COUNTER/RESETボタンを押す



■絶対時間とは

テープの始めから、現在の再生位置までの経過時間です。

■「-- --:--」と表示されたら

テープの時間情報が読めないときの表示です。

■テープカウンターをリセットするには



テープカウンター表示中に押す。

■ご参考

B面 (うら面) 再生時、テープカウンターはカウントダウン表示になります。

■13文字以上の曲名を表示させるには

テキスト表示中に1秒以上押す。
曲名をスクロールして元の表示に戻ります。



■アルバム名/アーティスト名を表示させるには

テキスト表示中にポンと押す。
アルバム名/アーティスト名をスクロールして元の表示に戻ります。



DCCの録音について DCC

録音できるテープについて

録音には、録音用DCCテープを使用してください。次のテープは録音できません。

- ACCテープ
- 市販のDCCミュージックテープ
- 誤消去防止穴の閉じているDCCテープ (22ページ参照)

録音できるデジタルソースについて

本機は、デジタル信号のサンプリング周波数として、48kHz、44.1kHz、32kHzの3種類を備えているため、CDだけでなく、衛星放送や、他のデジタルソースからもデジタル入力で録音できます。サンプリング周波数は、接続した機器に応じて、自動的に設定されます。

衛星放送のBモード、アナログ入力で録音されたDATテープなど	48kHz
CD、市販のDCCミュージックテープ、アナログ入力で録音されたDCCテープなど	44.1kHz
衛星放送のAモードなど	32kHz

マーカ記録について

DCCテープには、音声信号や時間記録とは別に、テープ走行をコントロールする「マーカ」を記録することができます。

■“AUTO”が表示されているとき



各曲の頭と曲番を示すスタートマーカが、以下のとき自動的に記録されます。


CDやDATなど曲番入りのソフトを録音するときに便利です。

- 無音、またはごく小さいレベルの音が、約3秒以上続いたとき
- デジタル入力録音時に、曲の始まりを示す信号が含まれていたとき

ご注意

- CDのプログラム演奏を録音すると、2曲目以降のスタートマーカが正しく記録されないことがあります。
- 曲の途中に無音に近い部分があると、スタートマーカが記録されることがあります。
- マイクから録音するときは、自動記録はできません。
- 録音待機状態から録音を始めたとき、必ずスタートマーカが記録されます。

スタートマーカを自動で記録したくないとき (衛星放送を録音するときなど)
録音待機中以外のかきにMARKAR MODE ボタンを押して、“AUTO”表示を消してください。

リバースモードで  **を選んでいるとき**
テープの反転位置を示すリバースマーカが、テープA面の終わる前に記録されます。

ご注意


- A面とB面の絶対時間は連続しますが、録音は約15秒間途切れします。
- 本機は、テープ長を計算して反転位置を検出しますが、正しく検出できなかったときはA面の終わりまで録音してから自動反転します。このときは、B面にリードイン領域を記録し、曲番1で録音待機状態になります。

好みの位置にマーカを記録したいとき
18ページをご覧ください。


録音する(機器との接続) 音楽

デジタル出力端子のある機器と接続

(デジタル入力による録音になります。)

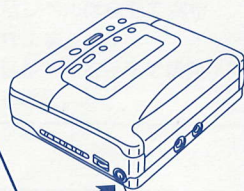
光角型コネクタ
デジタル出力 

オプティカルデジタルケーブル
RP-CA3210(別売り)

光ミニプラグ端子
デジタル出力 

オプティカルデジタルケーブル
RP-CA3310(別売り)

CDプレーヤー、BSチューナー、アンプなど



LINE IN/
OPTICAL
DIGITAL IN/
MIC IN

ご注意

必ずACアダプターを接続してください。
充電式電池使用時は、デジタル入力録音
できません。

ライン出力端子のある機器と接続

(アナログ入力による録音になります。)

LINE OUT
L 
R 
(白)
(赤)

接続コード(付属)

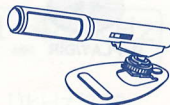
アンプ、ラジカセなど

●曲間の無音部が3秒以下のと
き、スタートマーカが自動
記録できない場合があります。

マイクロホンと接続

(アナログ入力による録音になります。)

ワンポイントステレオマイク
RP-VC300(別売り)



ご注意

モノラルマイクを接続すると、正しく録音
できません。

録音する

DCC

(準備) 録音する機器との接続をする。

テープの始めから録音する

1 テープを入れる

(8-9ページ)

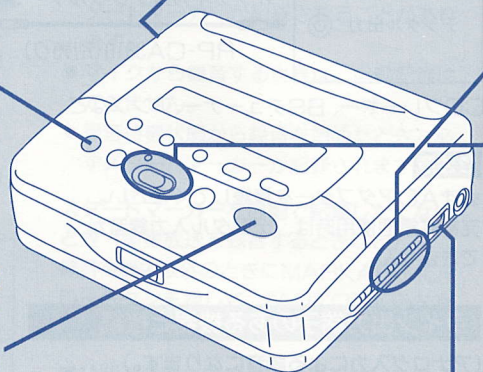
テープを入れると自動的にA面に切り換わります。

2 REWボタンを押す

絶対時間を正しく記録するために、新しいテープでも、必ず最初まで巻戻してください。テープが止まるまで、他のボタンは押さないでください。

6 RECランプが点滅してから◀▶ボタンを押して、録音を始める

(RECランプが点灯。)



REC LEVEL
つまみ

録音を止める



押す。

録音を一時停止する



右に動かす

●録音待機状態になります。

ご参考

スタートマーカを自動記録したくないときは、録音待機中以外のときに、MARKER MODEボタンを押し、“AUTO”表示を消します。

■もう一度、録音を始めるには

録音待機中に押す。



3 リバースモードを選ぶ

REC ⇐: A面またはB面だけに録音して自動停止。

REC ⇐: A面→B面と続けて録音して自動停止。

4 アナログ入力録音時のみ

入力切替つまみ、録音モードつまみを切り換える

- デジタル入力録音時は不要です。

5 REC PAUSEつまみを右に動かす

リードイン領域を記録して(約30秒間)、入力の種類とサンプリング周波数を表示した後、録音待機状態になります。(RECランプが点滅)

録音待機中



入力の種類とサンプリング周波数を確認する



録音待機中に右に動かす。

REC PAUSE

入力の種類 サンプリング周波数



- アナログ入力時は“44(44.1)kHz”です。

入力切替つまみ

MIC HI : マイクから録音するとき。

MIC LO : マイクからの音量が大きく、音がひずむとき。

LINE : 付属の接続コードをつないで録音するとき。

録音モード

AUTO : 録音レベルは自動で調整されます。

MANU : 録音レベルを手動で調整するとき。

録音レベルを手動で調整するには

(アナログ入力録音時のみ)

録音待機中に REC LEVEL つまみをまわす。

- メーターが-12dB程度になるよう、また、0dBを超えないように調整します。
- 録音レベルが大きすぎると、再生時に音がひずみます。



リードイン領域について

デジタル信号を確実に再生するため、テープの始めから録音すると、リーダーテープ部と1曲目との間(リードイン領域)にコントロール信号が記録されます。

リードイン領域では絶対時間がマイナス表示になります。

テープの途中から録音するには

一度録音したテープの続きから、曲番や絶対時間が途切れないように録音するには、次の手順に従ってください。

1. テープを入れ、録音したい位置の近くまでテープをすすめる。
2. ◀▶ ボタンを押して再生し、“End”表示が出たらテープを止める。



12 54:01 End

3. “End”が表示されていることを確認し、14,15ページの手順3-6に従って録音する。
 - ただし、リードイン領域は記録されません。

ご参考

再生中、曲番と絶対時間(ABS)が表示されていることを確認してテープを停止し、その後録音を始めたときも、曲番と絶対時間の連続したテープを作ることができます。



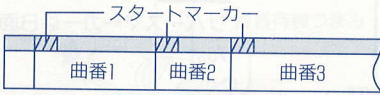
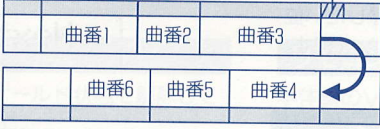
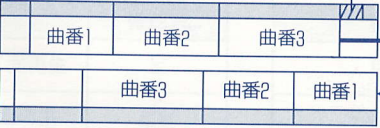

5 23:58 Stop
TRACK NO ABS

ご注意

- 絶対時間が表示されないまま録音を始めると、それ以降の絶対時間が記録できません。
- 曲番が表示されないまま録音を始めると、それ以降の曲番が記録できません。ただし、“End”が表示されていると、曲番を記録できます。

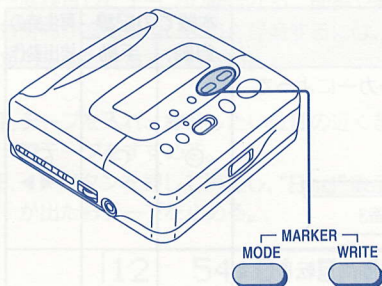
マーカの種類とはたらき 000

DCCテープは音声や時間情報のほかに、テープの動作をコントロールする「マーカ」を記録できます。

種類	はたらき	本機での記録		再生時の 検出動作
		自動	手動	
スタート マーカ	<p>各曲のスタート位置を示し、このマーカによって頭出しをします。</p> 	○	○	○
リバース マーカ	<p>A面再生時、このマーカの位置でB面に反転し、再生を続けます。曲番や絶対時間はA面からB面に連続します。(B面には記録できません)</p> <p style="text-align: center;">リバースマーカ</p>  <p>一枚のCDをA面→B面に続けて録音するとき記録します。</p>	○	○	○
ネクスト マーカ	<p>このマーカの位置で自動的に早送りし、反対面の最初から再生します。曲番や絶対時間はA面とB面で独立したものになります。</p> <p style="text-align: center;">ネクストマーカ</p>  <p>A面/B面に別々のCDを録音するとき記録します。</p>	×	○	○
スキップ マーカ	<p>このマーカの位置から次のスタートマーカまで自動的に早送りします。</p> <p style="text-align: center;">スキップマーカ スタートマーカ</p>  <p style="text-align: center;">スキップ</p>	×	×	○

好みの位置にマーカーを記録する

録音中、好みの位置に手でマーカーを記録できます。



スタートマーカーを記録する

録音中、スタートマーカーを記録したい位置で、MARKER WRITEボタンを押す。

3. MARKER WRITEボタンを押す。
リバースマーカーが記録され、B面に反転してから録音待機状態になります。
4. ◀▶ ボタンを押して、B面の録音を始める。

ご注意

リバースマーカーはB面には記録できません。

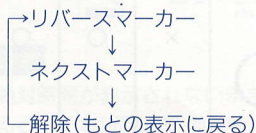
ネクストマーカーを記録する

1. 記録したい位置で録音待機状態にする。
2. MARKER MODEボタンを押して、“Next MKR ?”を表示させる。

Next MKR ?
-WRITE-
↑
点滅

リバースマーカーを記録する

1. A面録音中、記録したい位置で録音待機状態にする。
2. MARKER MODEボタンを押して、“Reverse MKR ?”を表示させる。
押すたびに

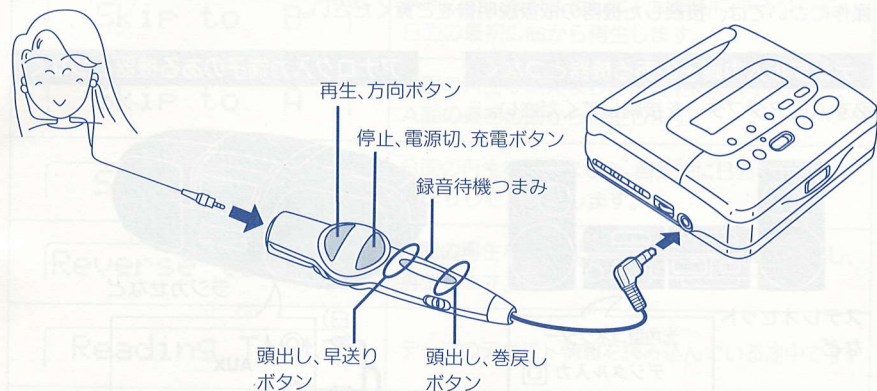


Reverse MKR ?
-WRITE-
↑
点滅

3. MARKER WRITEボタンを押す。
(A面に記録したとき)
A面の終わりまで早送りしてB面に反転し、リードイン領域を記録した後、録音待機状態になります。
(B面に記録したとき)
B面の終わりまで早送りして、停止します。

リモコンで操作する

操作のしかたは、本体の同名のボタンと同じです。



操作の前に

必ず、リモコンのホールド状態を解除してください。(7ページ)

リモコンで音量を調整するとき

本体側のVOLUMEつまみを4-6位置にしておきます。

動作確認音について

リモコン、または本体のボタンを押すと、インサイドホンから次のような確認音が聞こえ、動作を確認できます。

動作	確認音
A面またはおもて面再生	ピ
B面またはうら面再生	ピピ
停止	プー
電源「切」	ピピピプー
録音待機	ピー

動作	確認音
早送り	フ
巻戻し	フフ
前進して頭出し中	ピピ、ピピ、ピピ、……
後退して頭出し中	ピピピ、ピピピ、……

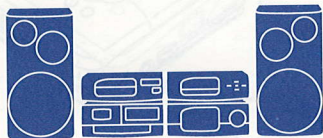
他の機器と接続して使う

接続した機器で演奏や録音ができます。

操作については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル入力端子のある機器とつなぐ

必ずACアダプターを接続してください。



ステレオセット
など

光角型コネクタ
デジタル入力

オプティカル
デジタルケーブル
RP-CA3210(別売り)

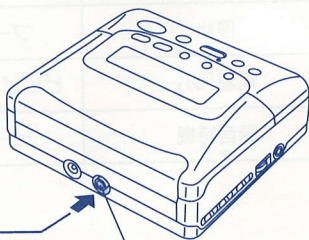
アナログ入力端子のある機器とつなぐ



ラジカセなど

(白) L
AUX
(赤) R

接続コード(付属)



LINE OUT/
OPTICAL DIGITAL OUT

こんな表示が出たときは

Skip to B	A面の再生を終えました。自動的に早送りして、B面の最初の曲から再生します。
Skip to A	B面の再生を終えました。自動的に早送りして、A面の最初の曲から再生します。
Skip to End	B面の再生を終えました。自動的にB面の最後まで早送りして、停止します。
Reverse to B	A面の再生を終えました。自動的にB面に反転し、再生します。
Reading Text	テープのテキスト情報を読み込んでいる途中です。
Press Play-key	テキスト情報を読み終わっていません。◀▶ボタンを押して、再生状態にしないと情報が読めません。
No Text Info	テープにテキスト情報が記録されていません。
--- --:-- Play	テープの時間情報が読み込んでいません。または、時間情報が正しく記録されていません。
Check Input !	録音する機器と正しく接続されていません。
Check DC In !	デジタル入力で録音するときは、ACアダプターを接続してください。
Rec Protected!	テープの録音防止穴が閉じています。
Copy Prohibit!	SCMSにより、デジタル入力での録音はできません。

DCC/ACCテープについて

DCCテープ

DIGITAL
DCC
COMPACT CASSETTE

DCCテープは、必ずこのマークのついた機器でご使用ください。

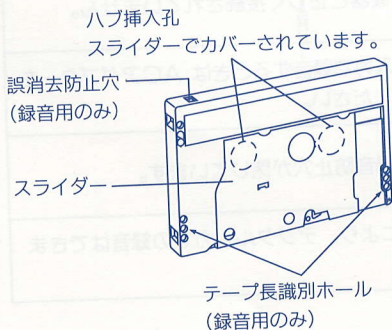
故障の原因になりますので、従来のアナログカセットデッキ等には入れないでください。

■テープの種類

DCCテープには、市販のミュージックテープと録音用テープの2種類があります。録音用DCCテープには、45分、60分、75分、90分用等があります。

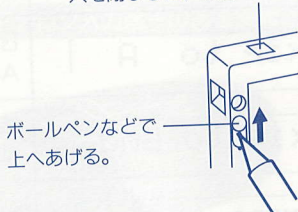
■DCCテープの構造

DCCテープは、従来のアナログテープ(ACC)と異なり、テープやハブ孔がスライダで保護された密閉構造です。音途切れの原因となるちりやほこりを入りにくくし、またテープがたるむことを防いでいます。(図は録音用DCCテープ)

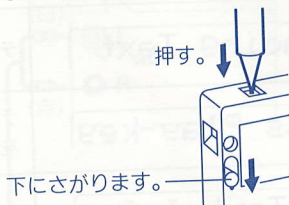


■録音済みテープを誤って消さないために

穴を閉じると、録音できなくなります。



もう一度録音するには



■取扱上のご注意

誤動作・故障の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 裏返して使うことはできません。
- 落としたり、ぶつけたり、激しい振動を与えない。
- スライダを開けて、テープに触れたり、テープを引き出さない。
- テープ長識別ホールに穴を開けたり、つぶさない。

著作権について

ACCテープについて

■使用できるノーマルテープの種類

ノーマル、クローム、メタルテープが使えます。

■90分を超えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こざざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

■テープのたるみは巻き取ってください。

テープに傷がついたり、切れる原因になります。



DCC/ACCテープを保管しておくとき

テープに付属しているケースに入れて保管してください。

次のようなところに保管することは避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温 (35°C以上)、高湿 (80%以上) のところ
- 磁気のあるところ(スピーカーの近くや、テレビの上など)

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先：

(社)私的録音補償金管理協会

電話 03-3506-8407

SCMSについて

(デジタルソースを録音するときのきまり)

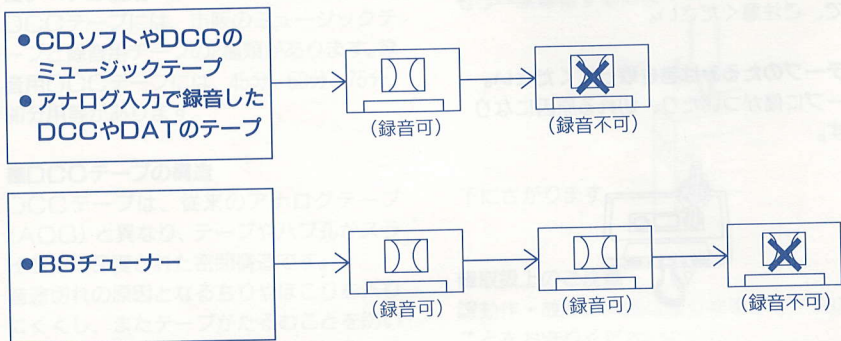
本機は、SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) に対応したDCCです。CDやデジタル録音したテープから、1世代に限りデジタル信号のまま録音することができます。ただし著作権保護のため、2世代以降はデジタル入力による録音できません。(本機の場合“Copy Prohibit!”と表示され、録音動作が停止します。)

ご注意

SCMSに対応していない機器で録音したテープや一部のBSチューナーは、この原則にあてはまらない場合があります。

ご参考

デジタル信号のまま録音できない場合でも、アナログ信号は録音できます。(アナログ信号の録音については、上記の制限は適応されません)



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
充電できない。	“Charging”と表示させていますか。	CHARGEボタンを押して表示させる。	6
	ACアダプターが正しく接続されていますか。	正しく接続する。	6
電源が入らない。	テープが入っていますか。	テープを入れる。	8

こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
操作できない。	“Set is on Hold”と表示されていませんか。	本体のホールドを解除する。	7
	ACアダプターが正しく接続されていますか。	正しく接続する。	7
	充電式電池が消耗していませんか。	充電する。	6
テープは走行するが、デジタル出力できない。	ACアダプターを接続していますか。	接続する。	7
再生音が途切れる。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部の手入れをする。	26
	テープが古くなっていませんか。	新しいテープを使う。	
雑音が多い。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いていませんか。	磁気を帯びたものから離して置く。	
	曲番や時間が表示されない。	曲番や時間表示は正しく記録されていますか。	正しい方法で録音しなおす。
曲の途中から再生を始めていませんか。		頭出しをして、曲の始めから再生する。	10
録音できない。 マーカーを記録できない。	誤消去防止穴が閉じていませんか。	誤消去防止穴を押し下げる。	22
デジタル入力で録音できない。	ACアダプターを接続していますか。	接続する。	7
	“Copy Prohibit!”と表示されていませんか。	アナログ入力で録音する。	24
アナログ入力で録音できない。	REC MODEつまみが“MANU”でREC LEVELつまみが“0”になっていませんか。	REC MODEつまみを“AUTO”にするか、REC LEVELつまみを調整し、適正なレベルにする。	15
ACCテープ再生時の音質が良くない。	ドルビーNRの切替が間違っていますか。	ドルビーB NRで録音したテープの場合は、つまみを“ON”にする。	9
リモコン操作ができない。	リモコンがホールド状態になっていませんか。	リモコンのホールドを解除する。	7
	リモコンのプラグはしっかり差し込まれていますか。	プラグをしっかり差し込む。	19

ご注意

充電式電池・充電器

- 充電には付属のACアダプターをお使いください。
- 充電中は、ACアダプターが熱を持ちますが、異常ではありません。
- 充電後はACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 初めて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か繰り返し充・放電すると通常の使用時間に戻ります。
- 充電式電池は約300回充電できます。
- 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です。新しい充電式電池RP-BP9SY-K(サービスルート扱い)をお求めください。

電池の持ち運び

ポケットやかばんに入れるときは、ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。ショートし、発熱、発火する危険があります。

使用済みの充電式ニカド電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。



お手入れ

本体

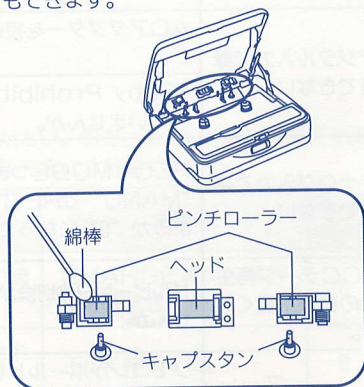
- 柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
 - 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

インサイドホンのプラグ

音が途切れたり、プラグを回転させて「ジャリッ」と音がしたときはプラグをきれいにふいてください。

ヘッド部

よい音でお楽しみいただくために、ときどきヘッドなどをヘッドクリーニングキット(RP-919、別売り)できれいにしてください。アナログカセットデッキ用クリーニングテープ(RT-CCL、別売り)を使うこともできます。



ご注意

アナログカセットデッキ用の消磁器は絶対に使用しないでください。ヘッド部を破損します。

アフターサービス

保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間——お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

下の「サービス伝言カード」をご使用になると便利です。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

(切り取ってご利用ください)

(サービス伝言カード)

(ふりがな)				…故障または異常の内容… (この様な場所で、……していた時、こんな故障になった)
お名前				
ご住所				※私の希望修理代金は _____ 円です
ご連絡先	電話() -			
商品名	ポータブル DCCレコーダー	品番	RQ-DR9	
ご購入日		ご依頼日		



Operating Instructions

Abbreviations used in the text to classify tapes:

The types of tapes used by the user are identified in the text by the abbreviations given below.

(DCC) DCC tape

(ACC) Conventional analog tape

Location of Controls

(See pages 4–5.)

Main unit

- 1 Reverse mode selector (REV MODE)
- 2 Dolby noise reduction selector (DOLBY NR)
- 3 Deep-bass control (S-XBS)
- 4 Volume control (VOLUME)
- 5 Headphones jack (☎)
- 6 Skip, rewind button (SKIP REW)
- 7 Skip, fast forward button (SKIP FF)
- 8 Play, direction button (PLAY/DIR)
- 9 Stop, power off, charge button (STOP/POWER OFF, CHARGE)
- 10 Recording standby knob and recording indicator (REC PAUSE, REC)
- 11 Open knob (OPEN)
- 12 Marker writing button (MARKER WRITE)
- 13 Marker mode select button (MARKER MODE)
- 14 Text display mode button (TEXT)
- 15 Time display mode button (TIME)
- 16 Counter display mode button (COUNTER/RESET)
- 17 Hold switch (HOLD)
- 18 Recording input selector (MIC, LINE)
- 19 Recording level mode selector (REC MODE)
- 20 Recording level adjustment control (REC LEVEL)
- 21 Multi input jack (LINE IN/OPTICAL DIGITAL IN/MIC IN)
- 22 DC input jack (DC IN 6 V)
- 23 Multi output jack (LINE OUT/OPTICAL DIGITAL OUT)

Remote control

- 24 Play, direction button (◀▶)
- 25 Stop, power off, charge button (■)
- 26 Recording standby knob (REC PAUSE)
- 27 Skip, fast forward button (F ▶▶)
- 28 Skip, rewind button (R ◀◀)
- 29 Headphones jack (PHONES)

- 30 Clip
- 31 Volume control (VOL)
- 32 Hold switch (HOLD)

Power Sources

■ Using the rechargeable battery

(See page 6.)

Be sure to recharge the battery when you are using it for the first time or if you have not used it for a long time.

1. Place the rechargeable battery (included) into the unit.
2. Connect the AC adaptor (included).
3. Press CHARGE to start charging.
"CHARGING" will be displayed while charging and it takes about 3 hours for charging.
4. After charging, disconnect the AC adaptor.

When the battery is weak

The battery indicator will flash. When the battery is flat, the power will be cut off and the buttons will be inoperable.

■ Using the AC adaptor

(See page 7.)

How to Prevent Accidental Operation (Hold function)

(See page 7.)

When in the hold state, the unit will not operate even if one of its functional buttons is pressed. This is to prevent the unit being operated accidentally and ensuing wear on the battery. Both the main unit and remote controller have a HOLD switch, and each of them works individually.

Be sure to release the hold mode before operation.

Listening to Tapes

(See pages 8–10.)

(DCC) **(ACC)**

1. Connect the earphones.
2. Open the cassette holder and insert the tape.
3. Release the hold function.
4. Press PLAY/DIR to start the playback.
5. Adjust the VOLUME.

■ To stop the playback

Press STOP/POWER OFF.

■ To switch off the unit

Press STOP/POWER OFF in the stop mode.

■ To change playing direction

Press PLAY/DIR in the play mode.

The power is switched off under the following circumstances:

- When the unit has been left in the stop mode for about 3 minutes.
- When the tape has been taken out.

■ Selecting the reverse mode

↶: Side A (FWD) is played once, followed by side B (REV), and then stops.

↻: Side A and side B is played continuously for 6 times and then stops.

■ To play the tape with Dolby NR

(ACC) only

Set the DOLBY NR selector to ON.

■ Enjoying the deep-bass sound

Set the S-XBS selector to MID or MAX.

■ Fast forwarding and rewinding

Press FF in stop mode to fast forward.

Press REW in stop mode to rewind.

■ Skipping tracks

You can skip as many tracks as the number of times the button is pressed. (up to 99 times)

Press SKIP FF in play mode to skip forward.

Press SKIP REW in play mode to skip backward.

Remember that in a backward skip, the current tune is included in the count.

Changing the Display

(See page 11.)

■ Changing the time display

(DCC) only

Each time TIME is pressed, the display changes as follows in turn.



What is the "absolute time"?

This refers to the time which has elapsed from the start of the tape until the present playback position.

■ Changing the text display

(DCC) (Pre-recorded DCC music tapes only)

Press TEXT to display present track number and track title.

To show 13 or more characters

Press TEXT for more than 1 second while the track title is displayed.

To show album title and artist

Press TEXT once while the track title is displayed.

■ To show the tape counter

(DCC) (ACC)

Press COUNTER/RESET.

To reset the tape counter

Press COUNTER/RESET while the counter is displayed.

Before Recording

(See page 12.)

(DCC) only

■ Concerning the tape for recording

Use the DCC tapes for recording.

■ Digital sources which can be recorded

This unit is provided with three frequencies, 48 kHz, 44.1 kHz and 32 kHz, which serve as the sampling frequencies of digital signals. They enable digital signals from not only CDs but also other digital sources to be recorded.

■ Writing the markers

Besides the audio signals and time record, it also possible to write markers on a DCC tape which control the tape transport.

When the "AUTO" is displayed

Start marker, indicating the start of each track and its track number, is automatically write in following situations.

- When no sound or sound with so low level has continued for about 3 seconds.
- When signals indicating start of the tracks were included among the signals input digitally.

Manual writing

You can write start makers manually at any tape position. This is useful when recording a broadcast.

If start markers should not be write automatically, press MARKER MODE to go off "AUTO".

When recording with mode

Reverse marker, indicating the position where the tape direction is changed from A to B, is automatically written.

Connection for the External Unit (For Recording)

(See page 13.)

(DCC) only

There are two methods of recording sound, digital input recording and analog input recording. When digital input recording, be sure to connect the AC adaptor.

Recording

(See pages 14-16.)

(DCC) only

1. Insert the DCC tape.

2. Press REW.

Be sure to rewind the tape to record the absolute time correctly, even if it is new one.

3. Select the reverse mode.

: For recording on one side

: For recording on side A through side B

4. (Only for analog input recording)

Select the MIC, LINE selector and REC MODE selector.

MIC LINE selector

MIC HI: For recording from external microphone

MIC LO: For recording from external microphone with so high level that the sound distortion is occurred

LINE: For recording with connecting the line cord

REC MODE selector

AUTO: Recording level is automatically adjusted.

MANU: Adjust the recording level using REC LEVEL control.

5. Slide REC PAUSE knob to the right.

Lead-in area is written on the tape before establishing the recording standby mode.

(REC indicator will flash.)

6. Press PLAY/DIR to start recording.

(REC indicator will illuminate.)

■ To stop recording

Press STOP/POWER OFF.

■ To temporarily stop recording

Slide REC PAUSE knob to the right.

To resume recording, press PLAY/DIR.

■ Append recording from midway through a tape

To make a recorded tape on which the track number, time information, etc. are written accurately throughout, follow the steps below.

1. Insert the tape and advance it near the position to start recording.
2. Press PLAY/DIR. When the "End" is displayed, press STOP/POWER OFF.
3. Be sure that "End" is displayed, and follow the steps 3–6 of "Recording".

Types of Markers and their Functions

(See page 17.)

(DCC) only

Start marker

Indicates the start of a track and its track number. It is used for skipping a track.

Reverse marker

When this marker is written midway through side A, the tape direction is reversed at that position.

Next marker

When this marker is written, the tape will fast forward from that position to start playing the opposite side.

Writing Markers Manually

(See page 18.)

(DCC) only

■ To write a start marker

Press MARKER WRITE at the position to write a start marker during recording.

■ To write a reverse marker

1. Set the unit to the recording standby mode at the position to write a reverse marker during side A recording.
2. Press MARKER MODE to show "Reverse MKR?".
3. Press MARKER WRITE.
4. Press PLAY/DIR to start recording on side B.

■ To write a next marker

1. Set the unit to the recording standby mode at the position to write a next marker.
2. Press MARKER MODE to show "Next MKR?".
3. Press MARKER WRITE.

Using the Remote Control

(See page 19.)

You can use as the same way as the buttons on the main unit.

■ To adjust the volume

Before using the VOL on the remote control, be sure to adjust the volume control on the main unit.

"4–6" is the average volume level.

定格

■デジタル録音/再生

テープ記録方式 : 固定ヘッド方式DCC

標準化周波数

アナログ入力録音時
: 44.1kHz

デジタル入力録音/再生時
: 44.1kHz、48kHz、32kHz(自動切換)

量子化ビット数 : 16ビット直線

データ処理方式 : PASC

チャンネル数 : 2チャンネルステレオ

周波数特性*1

fs.44.1kHz : 20-20000Hz(±0.5dB)

fs.48kHz : 20-22000Hz(±0.5dB)

fs.32kHz : 20-14500Hz(±0.5dB)

ダイナミックレンジ*1

: 87dB

SN比*1 : 87dB

ワウ・フラッター : 測定限界以下

■アナログカセットテープ再生

トラック方式 : 4トラック2チャンネルステレオ

周波数範囲(ドルビーNR : off)*2

: 40-16000Hz
(ノーマル/クローム/メタル)

■入/出力端子

マルチ入力端子

端子 : ステレオミニ

デジタル入力 : 光

LINE IN*1 : 100mV(最小)

MIC(LO)*1 : 2.5mV(最小)

MIC(HI)*1 : 0.25mV(最小)

マルチ出力端子

端子 : ステレオミニ

デジタル出力 : 光

ライン出力レベル : 1.0V(50kΩ負荷時)

ヘッドホン端子

端子 : 16-32Ω(M3ジャック)

実用最大出力(DC時)

: 18mW+18mW(EIAJ/16Ω)

■メカニズム

ヘッド : 36チャンネル薄膜ヘッド

テープ駆動モーター

: FGサーボモーター

テープ速度 : 4.76cm/秒

■総合

電源

AC電源(ACアダプター)

: AC100V、50/60Hz、DC6V

充電式電池 : DC4.8V(専用充電式電池)

充電時間 : 約3時間

消費電力(ACアダプター) : 4.2W(DCC再生時)

: 0.7W(電源「切」時)

寸法

最大外形寸法 : 111.6(W)×39.1(H)×

99.8(D)mm

本体寸法 : 110.6(W)×37.6(H)×

99.5(D)mm

重量 : 約420g(充電式電池含む)

充電式電池持続時間(EIAJ)

DCC録音時 : 約2時間30分

DCC再生時 : 約2時間30分

ACC再生時 : 約3時間

電池持続時間は、使用条件により短くなることがあります。

この定格は、性能向上のため変更することがあります。

*1はEIAJ CP-2301規格に準じて測定した数値です。

*2はEIAJ CP-2311規格に準じて測定した数値です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年	月	日	品番	RQ-DR9
販売店名				☎()	-
お近くの当社 ご相談センター				☎()	-

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

RQT2540-1S

Printed in Japan

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

F0694N1074

